

### ベトナム国の開発ニーズ

- ベトナム国内には約100万人の難聴者がいるが、難聴の状態・程度について正しく検査・診断されていない。
- 特に新生児・乳幼児への適切な処置・補聴器の処方が行われないことにより、難聴者の教育、就業の機会損失が生じている。

### 普及促進事業の内容

- 国立バックマイ病院附属聴覚検査センターの設立
- 同病院及び傘下病院の医師・技師・看護師への現地長期トレーニングの実施
- 奈良医科大学での長期トレーニングの実施、本邦病院視察

### 提案企業の技術・製品



#### 製品・技術名

- 聴覚検査・診断技術
- 検査・診断機器取扱技術
- 補聴器処方・アフターフォロー技術

### 事業のポイント

- 奈良医科大学との連携
- 長期トレーニングによる技術の定着

### ベトナム国側に期待される成果

- 耳鼻咽喉科医師、技師及び看護師の検査・診断技術の向上
- 適切な新生児・乳幼児健診、聴覚検査の先進事例の理解

### 日本企業側に期待される成果

#### 現状

- 機器の適切な取扱いを含めた正しい聴覚検査・診断技術が普及していないため、機器・補聴器の優位性が理解されず、他国の安価な競合機器・補聴器と差別化できない

#### 今後

- 日本製検査・診断機器、及び補聴器の優位性が理解され、正しい使用・処方技術が定着することにより、市場が拡大